



こころ豊かに、  
部屋籠もり。

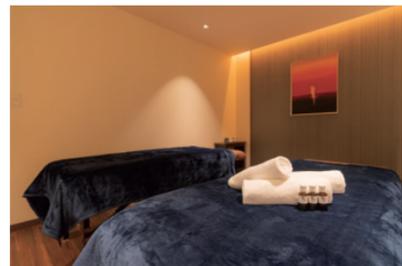
大室の社 翠  
Symphony



昼は海を見晴らす珈琲ラウンジ、夜は美酒を堪能できるBARI

伝統とモダンの美しい融合。  
大人が愉しめる「粹」は無駄  
や余分な設えの中にこそ宿  
り、遊びと余白の中に優雅  
なラグジュアリーを忍ばせま  
す。懐かしきレコードの調べと  
美酒の香りの、せれなあで。

美肌と健康のエステルーム



モダンクラシック  
といふ粹。  
一〇〇年の向こうがわ。

古今のレコード・書籍を集めた書斎



東伊豆名物・金目鯛の煮付け



お造りは地魚をふんだんに

時はゆるやかに。  
季節の恵みをゆっくり。

こんなにゆったりと時間をかけ  
て食事を楽しむなんていつ以来  
だろうと考える。完全個室の  
静かな膳の上には、まるで歳時  
記のように季節を彩る美食が  
ひと品一品、届けられる。器に  
さえ亭主のもてなしの心が宿  
る。食事のあとはラウンジの  
バーで、海の月でも眺めようか。



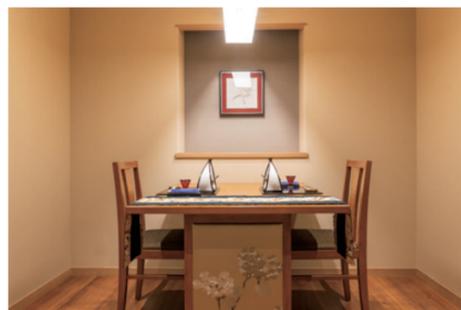
朝採れ野菜のタジン鍋

朝食にも新鮮なお刺身

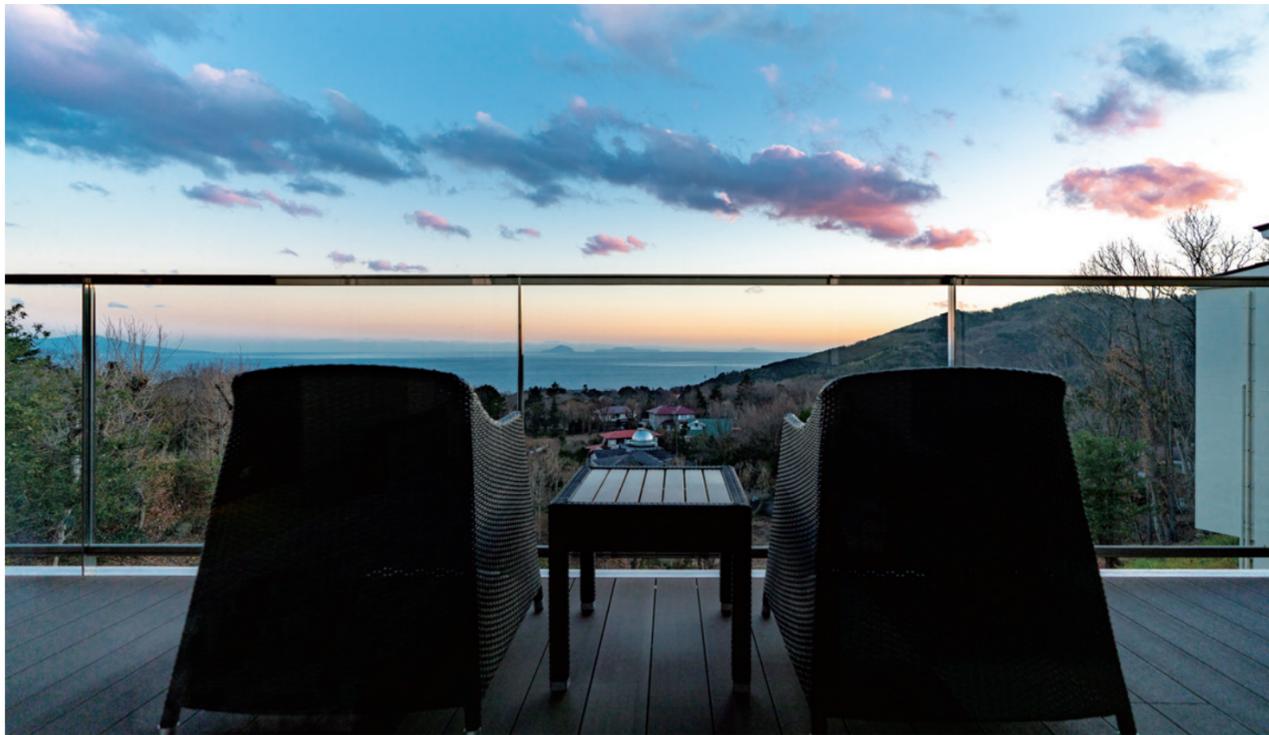


朝も、新鮮な彩りを  
心ゆくまで。

心地よい朝の目覚め。  
朝風呂を浴びて、朝食へ。  
朝採り野菜の温野菜、  
タジン鍋。伊豆ならではの  
の刺身や干物、炭で炙っ  
た香ばしい海苔など、心  
温まる和朝食を堪能。



完全個室料亭「いずみ」

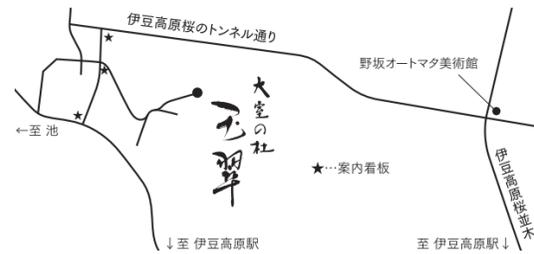


交通のご案内

●車で



●電車で



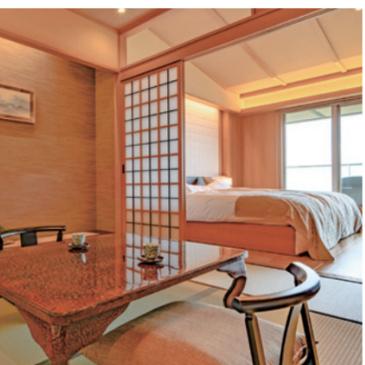
大室の社 玉翠 Gyoku Sui  
0120-23-2175  
静岡県伊東市八幡野1357番地10  
omuro.gyokusui.jp

美しい夕暮れのテラス（オーシャンビュー 2階ツイン）

解放感に溢れたリビング（オーシャンビュー 特別室）

源泉掛流しの露天風呂（オーシャンビュー 特別室）

静寂の夜のテラス（オーシャンビュー 1階ツイン）



落ち着いた雅の空間（オーシャンビュー 特別室の和室）

都忘れの、部屋籠もり。

気忙しい日常から遠く離れ、もう一度ラウンジで夜の海を見て、幾たびか伊豆高原に通ううちに、此処へは午後の早いうちに着くのが賢明だと知った。午後二時半、ラウンジで珈琲を味わいながら見る相模の海は瑠璃色。部屋で静かに湯に浸かり、次第に茜色に染まる島々を臨む。食事までの時間を書齋で過ごし、妻と差し向かいで二時間半かけて夕食を愉しむ。籠りの愉悦、ここに極まる。

もう一度ラウンジで夜の海を見て、見ながら、妻は紅茶を私はウイスキーを嗜む。妻が湯に入っているうちに私はいつしか眠ってしまう。朝日のタイピングで湯に浸かるためだ。朝食はあたたかな和のおもてなし。ラウンジでコーヒーを楽しみながら、チャクアウトまでの時間をゆったりと過ごす。なんて贅沢な休日。宿籠りの愉悦、ここに極まる。

広々としたテラスの  
デッキチェアに座って。

飽くことなく、いつまでも杜と海を眺める。時間を計るものもなく、ただ陽の移ろいだけで夜の訪れを知る。青から紫、茜から深い藍へとしずむ空の色。遙か洋上の島影を赤々と染めて一日が過ぎてゆく。もうとだけこうしていたか。贅沢な旅の悦び。海上に月がのぼり、いつしか天上に星々の満つ宵となった。

お部屋にひとつずつ。  
源泉湯守りの心。

先代達が熱川で弛まず変わらず続けてきたもの。滾々と湧く古からの源泉を守り、掛け流しの湯に託し、お部屋に届けること。湯の滋味もそのままに、滔々と湯船に満たす湯宿の営み。昼夜を問わず、思い立った時に存分に名湯を堪能いただきたい。海を眺めながら、刻々と移ろう景色を心ゆくまでお愉しみ下さい。

源泉をいつまでもこころゆくまで（オーシャンビュー コーナーサイト）

